

⑤教科書「鍵 茨木のり子」を読み、この「鍵」とは何を表しているのか、自分の考えを書け。

(例) ・自分がこれまででは見えなかったものを開くもの。

- ・不思議に思ったり、感じたりしていた物が納得できるものになる
 - ・落ち着いて探さないと決して見るからなもの
 - ・自分の身の回りに、なまぬまな形で存在しているもの。
 - ・この世にたぐひなく存在しているもの。
 - ・自分を成長させてくれる扉を開くもの。
- など

※「今月の詩 冬が来た 高村光太郎」

「刃物のような冬」「刃、刃、刃のような冬」なのか、自分の考えをまとめていよう。
※(例) 肌を切る裂くような厳しさを

※次のページ(三月二日)からの課題があります。

中二 三月二日からの課題

○課題「国語復習ミニテスト」を作る

以下の条件に沿って国語のミニテストを作成する。

テストはA4サイズ wordで作成する。(文字の書体やポイント、枚数は自由)パソコンがない、プリントアウトできない等場合、手書きで作成しても良い。

(丁寧な字に限る)。

・条件 (各一点)

- ①テストは二十点満点とする。
- ②テストの題名は「第一学年 国語復習ミニテスト」とする。
- ③テストには「制作者名(自分の名前)と「解答者名を書けるスペース」を入れる。
- ④テストの「想定回答時間(テスト時間)」を記入する。
- ⑤テスト範囲は今年度の学習範囲に限る。
(ワーク・文法ノート・教科書・授業ノート・その他問題集等を参考にしても良い)
- ⑥テストの問題数は六〜十問までとする。(一問の得点配分は自由とする)。
- ⑦出題は「漢字・文法・短文作成」とし、各ジャンルにつき一問以上出題する。

※短文作成の例

「胸が熱くなる」という言葉を使って短い文を作りなさい。

・友達から励まされ胸が熱くなる。

- ⑧テストには必ず、解答と簡単な解説を付ける。
- ⑨テストの難易度は「同級生が解いたとき十四〜十六点程度」の難易度とする。
- ⑩「問題は誤字脱字や文のねじれ、問題として成立しない」「等がならない」。

※八点以上で合格とする。

※この課題と課題①②③④(二月十日)、日本人学校川柳(二月二十四日の課題)は、休校明けに提出してほしい。